

令和４年度　定期モニタリング評価表（年間）					公表用
施設名	枚方市立生涯学習市民センター・図書館 （蹉跎・牧野）	所管部署 （連絡先）	観光にぎわい部　文化生涯学習課（072-841-1409） 教育委員会　中央図書館（050-7105-8111）	令和５年５月実施	

この定期モニタリングでは、以下の表の評価項目・視点により確認を行いました。

評価項目		評価の視点	
１　業務の履行状況		事業・業務等が適正に実施されているか否かについて、実施状況・実施体制を確認します。	
(１)　選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項	市民ニーズの把握・対応状況	アンケート調査等の実施により、市民（利用者）のニーズを把握し、その結果を踏まえて改善を行います。	
	経済性	料金収入や委託料等の収支状況について、当初の収支計画と乖離がないか、適正な内容となっているかについて確認します。	
	サービス水準	指定管理者によるサービス水準が適切なものとなっているかについて確認します。	
	リスクマネジメント	緊急事態発生時や機器・設備故障時等における対応状況や、対応体制・対応方法について確認します。	
(２)　施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）			
(３)　募集要項・仕様書記載事項等に関する事項			
(４)　改善指示等への対応状況			
２　業務の継続性・安定性		指定管理者の財務状況が継続的、安定的にサービスを提供できる状態にあるかについて確認します。	

施設の概要等			
所在地	枚方市北中振３丁目27-10 枚方市宇山町4-5（牧野北分館）枚方市牧野北町11-1	主な業務内容	
設置目的	【生涯学習市民センター】 市民の学習活動及び芸術等の文化活動を支援するとともに、地域におけるコミュニティ活動の活性化を促進することにより、市民が生涯にわたって学び続けることのできる環境を醸成し、並びにこれらの活動を通じた市民との協働によるまちづくりを推進する。 【図書館】 図書その他必要な資料を収集し、整理し、及び保存して市民の利用に供し、その教養、調査研究、余暇活動等に資するため、図書館法の規定に基づく図書館を設置する。		【生涯学習市民センター】 ・生涯学習活動に係る情報の収集及び提供を行うこと。 ・生涯学習活動に係る交流の促進その他生涯学習活動の支援を行うこと。 ・センターの施設及び附属設備を生涯学習活動及び協働によるまちづくりに係る活動の用に供すること。 ・センターの施設等を社会教育法(昭和24年法律第207号)に基づく社会教育事業の用に供すること。 【図書館】 ・教育と文化の発展に係る図書館事業の実施に関すること。 ・読書案内及びレファレンスに関すること。 ・図書館資料の選択、貸出し、整理、修理、保存および除籍に関すること。
指定管理期間	平成30年4月1日から令和5年3月31日 （2018年4月1日から2023年3月31日）		
指定管理者			
名　称 (JVの場合はグループ名)	さだ・まきの文化創造プロジェクト	代表団体 (JVの場合)	株式会社小学館集英社プロダクション
所在地(JVの場合は代表団体の所在地)	東京都千代田区神田神保町二丁目30番地	構成団体 (JVの場合)	株式会社図書流通センター 株式会社長谷工コミュニティ

■　１　業務の履行状況

(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項

評価ポイントごとの評価基準	
５	計画以上に独自の新たなサービスを提供し、特に良好な管理運営を行っている。
４	計画以上の良好な管理運営を行っている。
３	計画どおりの適正な管理運営を行っている。
２	一部計画とおりにできていない、又は改善が必要であるが、概ね適切な管理運営を行っている。
１	全く計画とおりにできていない、又は一部不適切な管理運営が行われている。

評価ポイント		指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
		評価	評価理由	評価	評価理由
【施設の経営方針に関する事項】					
①施設の現状に対する考え方及び将来展望					
施設の設置目的等を踏まえた現状認識及び今後の方向性が明確に提案されている（確認事項６）					
・生涯学習施設と図書館の一体的で魅力的なサービスを提供	3	【共通】 ・センターと図書館の共催事業や互いの事業への参加協力量等、施設の一体運営に取り組んでいます。また、センター便り・ホームページ等で、常に利用者へ最新情報を発信し、安全にご利用いただける対策をとっています。 ・講座やイベント開催時には、内容に関連した書籍の展示や図書館への案内を行うなど生涯学習施設と図書館が連携したサービスの提供をいたしました。 ・1階総合窓口、2階のロビーに、図書館資料の利用を促すリーフレット「サークル活動に図書館の本を活用しませんか」を設置し、一体的であることをアピールいたしました。 【さだ共通】 ・総合窓口では、季節の装飾をセンターと図書館が同じテーマで施し、来館者に楽しんでいただけるよう行いました。また、図書館事業の案内や利用者が日常必要とする情報を提供できるよう努めました。 ・1階の図書館内にセンター事業のポスターやチラシを掲示・配架、2階ロビーに図書館からのお知らせや特集・機関紙を掲示・配架するなどの互いのサービスを提供いたしました。 【牧野共通】 ・1階ロビーではセンター・図書館と合同で季節に合わせた装飾展示を施し、来館される方々に楽しんでいただけるよう努めました。展示物や、装飾物の作り方についての問い合わせに参考資料を提供する等、センター・図書館スタッフが一体となったサービス提供いたしました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	
・「人」、「文化」、「未来」をつなぐ拠点となるよう、サービスやシステムを構築。	3	【共通】 ・拠点として、利用者の安全を確保し、少しでも安心して活動できるように館内の机イスなどの配置変更や消毒対応など感染拡大防止対策を講じながらより良い環境を提供いたしました。 ・コロナ禍の中で開催するイベントや講座は、厳選し且つ感染症対策を重視しながら開催することで、市民同士の交流拠点となるよう努めています。また、ホームページやFacebook、Twitterで情報提供を行うと共に、YouTubeでも、施設に関する情報や講座など様々なコンテンツを配信しサービスの提供しており、人気のコンテンツに関しては再生数が7,600を超える視聴回数となりました。引き続き継続実施いたします。	4	人気のコンテンツでは再生回数が多かったため、より多くの人に施設を紹介することができたと判断し、評価します。 SNSを通じて情報発信するだけでなく、利用者の増加につながるような取り組みに発展できるよう期待します。	
②施設運営に関する計画					
(ア) 管理経費・管理体制の提案					
業務繁忙時にも対応できるよう、施設にも必要な従事者を適正に配置するとともに、総合窓口における業務内容・方法等の具体的な内容について、複合施設としての利用者サービス向上、効率的・効果的な管理運営の観点を踏まえた実施体制等について提案されている（確認事項８）					
・柔軟で効率的・効果的な人員配置	3	【共通】 ・センター職員が図書の返却業務を行う、図書館職員が諸室の鍵の受渡をするなど、窓口業務は連携を取りながらサービスの提供をしました。また、開館前に合同朝礼を実施しており、当日の行事などの共有は引き続き継続します。 ・総合窓口センター職員1名、図書館職員2名を配置しています。開館時や混雑時にはセンター、図書館の職員を増員し連携をとり合いながら窓口対応を行いました。 ・イベントや講座の開館時はセンター図書館が協力し合いながら必要な人員配置を行っています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	

(イ) 改善提案					
利用者サービス向上の観点から、両施設の施設の設置目的を踏まえた物販販売や新たな備品の貸出など事務所サービスが提案されている（確認事項 9）					
	・デジタルサイネージ、Wi-Fi環境の整備	3	【共通】 ・デジタルサイネージは、センター施設の利用状況を毎日更新し、コロナ対策本部会議において、大阪府からの要請に基づいた施設の運営状況や枚方市からのお知らせ、施設行事等を随時情報発信しています。 ・Wi-Fiサービスは、2018年度に2階ロビーでの導入し継続実施しています。 【さだ】 ・2021年度にWi-Fiルーターの交換及び 1 階と3階に中継器を増設し、Wi-Fiの利用ができる環境を改善、利用者へのサービス向上を図っています。 【牧野】 ・Wi-Fiルーターの中継器を 3 階にも増設し、電波の届く範囲の改善を行いました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
	・全職員が「地域コンシェルジュ」として様々な支援を実施。	3	【共通】 ・枚方市のホームページや広報ひらかたなどから情報を収集し、職員間で地域情報などを共有しています。 ・インターネットにアクセスできる環境を持たない方や転入されてきた方の相談については懇切丁寧に支援するよう心がけています。 ・道案内、駐車場案内、印鑑証明などの取得可能場所の情報収集を全職員で共有し、案内用の資料を作成しています。また、その他の問い合わせに対しては、市のホームページやインターネットを参照しながら案内しています。新たな情報は資料に追加し共有していくことで、様々な支援に対応できるよう努めています。その他に、装飾花等の手配サポート、催事やイベントのチケットの受託販売、宅配便発送等も要望があれば行っています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
生涯学習市民センターの魅力アップのための施設・備品等の改修・改善について、費用対効果の認められる具体的なアイデアが提案されている（確認事項10）					
	・館内装飾を充実し、施設のイメージアップにつなげる	4	【さだ】 ・季節毎にテーマを決め、2階ロビー案内掲示板付近とアート・スペース、1階総合窓口等に装飾をし、来館者に施設内でも季節感を味わってもらえるよう工夫をしています。 ・利用者の中には、毎月変わる装飾を楽しみにしていただいている方や、装飾の作り方に興味を持たれ、作り方を尋ねてこられる方もいます。また、装飾を背景に写真撮影される姿もあり、施設の雰囲気明るく演出できるように努めています。 ・3月には、アートスペースに豪華な京雛の七段飾りを装飾しました。人形や道具の意味などをわかりやすく解説したポスターも掲示し、多くの方が立ち止まって読んでおられました。また、よみかきの学習者の方々にも好評で、着物を着て写真撮影をしておられました。 【牧野】 ・季節感あふれる館内装飾、展示を、1階ロビーに行っております。大きな装飾は来館者からいつも大変好評で、装飾を背景に写真撮影される方が見受けられます。 ・10月に1階と2階のロビーにハロウィンの装飾をおこないました。ハロウィンイベントを牧野愛する商店会と協働したことにより、たくさんの方が施設に訪れご覧いただけ施設のイメージアップに繋がりました。 【牧野北】 ・季節の装飾を事務室前天井や壁面に行い楽しいイメージを創出しています。 ・「北分館つつしん（壁新聞）」の掲示を行い、季節の話題や催事のお知らせを伝えています。利用者からは「お花の手入れが行き届いており来る度に感動しています」「窓口付近や廊下の壁などおしゃれに季節ごとの飾りつけ、いつも楽しませて頂いています」などのお声をいただいています。	4	館内装飾については、季節に応じた創意工夫がみられ、利用者からも好評いただいていることを評価します。
	・利用者目線で備品の設置・改善	3	【共通】 ・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、手指消毒用アルコールの設置や諸室利用者への消毒セットの貸出など感染対策用備品の対応いたしました。 ・施設利用後には、スタッフ及び清掃員が利用者目線で備品の設置位置や状態を確認しています。今後は更なる精度向上に向けチェックリストの利用等検討してまいります。 ＜さだ＞ ・料理室のビルトインコンベック付ガスコンロ入替えを行いました。オープンの温度調整、ガスの火の調整が不安定であった為、利用者から交換の要望も強く新調したことで、利用者からとても喜んでいただきました。 ・ホールの掛け時計が破損したため、遠距離からでも見やすい大きな時計を新調しました。見やすくなったとお声をいただきました。 ・3月に実施した「初めてのパン作り」講座では、調理道具を何点が新調したことで講座の参加者から、「新しい道具で気持ちよく調理ができた」とのお声をいただきました。また、料理室の調理道具の充実にも繋がりました。 ＜牧野＞ ・給湯器のお湯が使用目的によってぬるいとのこと意見があるため、湯沸室に電気ケトルを設置しました。 ・貸出備品の設置場所を改善し、黒板消しクリーナー、送風機、譜面台等は利用者が自由に使用できるようにしました。 ・経年劣化により動きが悪くなったCDプレーヤーを新調しました。 ＜北分館＞ ・フライパン等の調理器具が古くなり表面コーティングの剥がれや、持ち手のがたつきが発生していたので新調しました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
	・危険箇所の案内	3	＜さだ＞ ・料理室で新調したビルトインコンベック付ガスコンロの火力モードが以前の物と左右異なるため、注意喚起を掲示しました。 ・ドアクローザーが老朽化しており部品の一部が破損し勢いよく開くため、修繕が終わるまで注意喚起の掲示をしました。 ・駐輪場で歩行者との接触事故防止のため注意喚起を掲示しました。表示にはわかりやすいようにピクトグラムを使用し作成しました。 ・＜牧野＞ ・ドアクローザー老朽化のため、ドアの開まる速度があがってきている事に対して、注意喚起の掲示をしました。 ＜北分館＞ ・外周床タイルが隆起した時に、コーンを設置し修繕が完了するまで注意喚起を行いました。 ・周辺でセアカコケモが発生時には、駆除を行い利用者に口頭で注意喚起を行うと共に掲示もしました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
図書館の魅力アップのための施設・備品等の改修・改善について、費用対効果の認められる具体的なアイデアが提案されている（確認事項11）					
	・ブックシャワーの導入	3	図書除菌機を継続して設置しています。 開館日数 332日（昨年同期間 342日） 来年度には同時処理冊数が増加した新型機を設置する予定です。 ＜さだ＞ ・年間利用実績 9,060件 （昨年実績 9,841件） ＜牧野＞ ・年間利用実績 11,176件 （昨年実績 11,770件）	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
	・デジタルサイネージの設置	3	【共通】 ・継続して設置しており、センター施設の利用状況を毎日更新しています。イベント案内等の施設情報や、市からのお知らせを随時発信しています。また、枚方市のキャラクターや枚方八景など市民に馴染みのある画像を投影し、施設に親しみを感じてもらっています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
	・安心・安全で利便性の高い施設の維持	3	【共通】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、引き続き飛沫防止バテーション設置、消毒液設置、換気、共用スペースの定期的な消毒等、利用者に安心・安全に利用していただけるよう努めています。 ＜さだ＞ ・日常点検で、書架や備品の損耗等をチェックしております。 ・9月の臨時休館中に、窓サッシ、棚奥等の埃除去を実施し、快適に過ごしていただけるよう努めました。 ＜牧野＞ ・日常点検で、書架のささくれ部分に注意し、ケガをしないようブッカーなどで修繕を行っています。 ・9月の臨時休館中に、閲覧席イスカバーの洗濯や、窓サッシ、棚奥等の埃除去を実施し、快適に過ごしていただけるよう努めました。 ・児童閲覧座席のベンチ型長椅子の一つをクッション付きスツール3脚に変更、座り心地がよい、とのお声をいただいています。 ・文庫棚の高さを調整し、本を取り出しやすくしました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。

(ウ) 事業提案					
牧野北分館の調理室や和室等を活用した事業が提案されている（確認事項12）					
・利用者のニーズに合った事業を提供、新たな利用者の獲得	3	・7月「親子でバルーンアート」では、和室を利用して親子が気軽に参加できる講座を開催しました。講師をシニアの方に依頼し、親子で参加していただく事でシニアの方と子育て世代・子どもとの交流を促すことができました。参加者からは「またいっぱいしたいです」「すごく楽しかったです」との声をいただきました。また、北分館に初めて来られた方が多く、北分館の認知度アップに繋がりました。 ・2月「管理栄養士のお味噌汁レッスン」を連続講座として全3回で開催しました。回を重ねる毎に、参加者同士のコミュニケーションが生まれ和やかな雰囲気です実施する事が出来ました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	
・講座参加者同士が仲間となり、サークル形成につながるよう支援	3	・10月「美味しい紅茶の淹れ方」を調理室で実施しました。同じ趣味の方が集う事を目的としましたが、残念ながらサークル形成には繋がりませんでした。次回を希望する声をいただくことが出来ました。 ・施設来館者にお声をかけし、同じ趣味をもつ利用者呼びかけ等の支援を行い「健康麻雀」サークルの形成へ繋げました。	3	施設職員の働きかけにより、新規のサークルが形成されたことは一定評価できます。	
旧市民室サービスコーナーの活用について提案されている（確認事項13）					
・旧市民室サービスコーナーを特別に静かな環境を望む利用者に対し提供	3	【共通】 ・「ラーニングルーム」として静かな環境での自学自習の場所を継続して提供しています。座席数は16席とし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため座席間には飛沫防止バナーを設置し、開室中は適宜、換気を行いました。 ＜さだ＞ ・年間開室日数 331日 ・年間利用実績 5,828件（昨年利用実績 4,296件） ＜牧野＞ ・年間開室日数 332日 ・年間利用実績 4,976件（昨年利用実績 3,362件）	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	
生涯学習市民センターの設置趣旨等を踏まえ、生涯学習のきっかけづくりやセンターの認知度の向上・活性化につながるような自主事業が具体的に提案されている（確認事項14）					
・利用者のニーズに合ったプログラムを提供	3	【共通】 ・市民のニーズを捉えるために、利用者アンケートや開催する講座やイベント毎にアンケートを実施し、効果的・効率的な講座やイベントを開催しました。 ＜さだ＞ ・講座後のアンケートで、美容に関する講座の要望があったため、10月「からだリズムスキンケア」を開催しました。参加者は、体のリズムに合わせたケアの方法、食材や食べ方について熱心にメモをとっておられ、個別の悩み相談にも大変満足の様子でした。 ・利用者アンケートで「ものづくり」や「寄せ植え」の要望があったため、1月「苔玉作り」を開催しました。初心者でも簡単に作れ、出来上がった苔玉を好みのお皿に飾り、完成した作品を写真撮影するなど大変ご満足いただけました。 後日、YouTubeで「苔玉作り」の開催時の様子や作品を動画配信しました。 ＜牧野＞ ・昨年度末の利用者アンケートより「地元で活躍されている方の講座」の要望があったため、地元で活躍されている作家さんをお迎えし、センターと図書館の共催事業として2月「こわい明りとこわいお話」や「地域の伝承と怪談」を行いました。 怪談と歴史の繋がりなどにも興味をもって頂く事もでき、「時間をもっとって欲しい!」「次回もありますように!」との声をいただきました。アンケートの結果では「また参加したい」の声が100%の結果となりました。	4	積極的に利用者アンケートでの要望をもとに、イベントを企画するとともに、後日、イベントの様子を動画配信するなど、生涯学習市民センターの認知度を上げる取り組みが積極的に行われていることを評価します。	
・新たな利用者の獲得に繋がる事業の実施	3	＜さだ＞ ・7月マナビスト講座「眠りの質を改善！睡眠セミナー」は、施設利用の少ない年齢層へ繋げる目的で開催しました。利用の少ない30～50代の方の参加があり「資料が充実していた」「説明が分かりやすかった」などのお声もいただき好評でした。また、準備しておいた図書の貸出しも多数あり図書館利用にもつながりました。 ・10月「さだ秋ジャズ」を開催しました。演奏だけでなくジャズの歴史など音楽知識も学べるイベントとし、小学生からご年配の方まで幅広い年齢層の方に満足いただけました。ライブハウスでチラシ配布したことではじめてセンターに来られた方もおられ、施設の認知度アップにも繋がりました。 ・12月に「クリスマスワークショップ ハーバリウム講座」を開催しました。10代以下～70代まで幅広い世代の方に楽しんでいただきました。特に、普段センターとの関りが少ない10代以下の世代に足を運んでいただく機会となりました。 ・3月に、まったく新しい企画の試験的運用として「ボードゲームを楽しもう!」を開催しました。8歳から40代までの方にご参加いただき、半数を小学生が占めました。4グループに分かれて実施し、どのグループも大変盛り上がりっていました。 ＜牧野＞ ・11月「トルコガラスのキャンドルホルダー講座」の開催をしました。トルコより直接仕入れたトルコガラスを使用し、トルコの工芸品を作成する事で、異文化を感じていただく講座として行い、20代～60代以上の方と幅広い参加者が集まりました。	3	新たな利用者の獲得という観点から、ライブハウスでのチラシ配架等をしていただいたことを評価します。	
・市民の自発的な活動を促す講座の実施と人材育成事業への取り組み	3	＜さだ＞ ・7月「ボランティアを学び体験してみよう」では、市民の自発的な活動を促す講座として開催しました。参加者に高齢者の疑似体験をしていただくことで「高齢者の気持ちがあった」「知らなかった体験が出来てよかった」「自分にできることを活かして行きたい」とのお声をいただきました。 ・3月に「初めてのパン作り」を開催しました。人材育成事業として講師経験がない方で、学ばれたスキルを活かしてもらう場を提供しセンター職員と一緒に講座開催に向け取り組み育成に努めました。引き続き継続を検討しており、サークル結成に繋がるよう努めてまいります。参加者からは「この先生に継続して習いたい」とのお声をいただき、講師の自信にもつながりました。 ＜牧野＞ ・10月、2月に「将棋のじかん」を開催しました。小学生～シニアまで、初心者～ベテランまで幅広い層での参加をいただきました。シニア層の経験者が初心者や小学生に教えるなど世代間交流にも繋がりました。	3	学ばれたスキルを活かす場を提供し、今後の活動を行う自信につながったことを評価します。今後も、自発的な活動が行いやすいようなしくみ作りに期待します。	
・幅広い世代に応える講座の実施	3	＜さだ＞ ・6月「これから始める資産形成～つみたてNISA・iDeCo～」は、成人向けの講座として開催しました。適切な資産形成のために知識や判断力を身につけていただくことを目的とし、参加者の半数以上が30代～50代の子育て世代の方で関心の高さが見られました。参加者からは「これから自分に合った資産形成の方法を調べたい」など、前向きなご意見をいただきました。 ・7月「眠りの質を改善！睡眠セミナー」は、睡眠の知識や眠りの質を向上させるなど健康に役立てていただくため開催しました。30代～80代と幅広い世代の方に参加いただきました。 ・8月「家電リサイクル博士になろう!」では青少年を対象とした講座として開催しました。小学生の夏休み自由研究としても役立ててもらい、また参加者みんなで誰もが暮らしの中で資源を守る為に出来る事を一緒に考え質疑応答を交えながら学んでいただきました。 ・8月「親子で学ぶスマートフォン」では小学3年生～6年生の親子を対象に子供に飽きさせないよう座学と体験を組み合わせた内容で開催しました。終始楽しい雰囲気です。特に保護者が熱心に話を聞く姿が印象的でした。 ・12月「作って楽しい 飛び出すクリスマスカードとお正月飾り」を、季節イベントとして開催しました。老若男女、幅広い年代層にご参加いただき、年代を超え参加者同士が教え合ったりしながら物を作る楽しさを体験いただけるワークショップとなりました。 ・2月「チョコレートの世界へようこそ」を開催し、チョコレートの製造過程や歴史を学んでいただきました。また、持続可能なチョコレート作りのための、カカオ農家産地支援活動についての紹介もあり、SDGsの観点からも学んでいただくことができました。 ＜牧野＞ ・5月「もっと知りたい牧田市：九頭神廃寺とその周辺の発掘調査」では大人～シニア層にご参加いただきました。牧田市文化財課職員を講師に迎え、文化財への取り組みや、発掘されたものを知っていただく機会となりました。出土品の展示では、とても興味津々にご覧になっておられる方ばかりでした。 ・6月「バラソルアート」では小学生を対象として参加いただきました。作品は1階ロビーに季節の飾り付けとして展示を行いました。飾られているところをみて参加者も喜んでおられました。「とても楽しかった」「たくさん色を混ぜたり、きれいな絵がかけてとても良かった」との声をいただいています。 ・8月「家電リサイクル博士になろう!」は小学生向け環境講座として開催しました。興味を持たれた大人の方も一緒に参加していただきました。講座の中で洗濯機の解体実演があり、どんな部品から出来ているのかを知るとともに、そのほとんどがリサイクル可能品という事をわかりやすく学べる機会を提供できました。 ・10月、1月「将棋のじかん」を開催しました。将棋は小学生～60代以上まで幅広い層が行っており、楽しく対局していただく事で世代間交流にも繋がる講座となりました。 ・11月「トルコガラスのキャンドルホルダー」では、20代～60代以上の方まで幅広く参加いただける講座となりました。「素敵な体験が出来た」との声をいただきました。 ・2月「こわい明かとこわいお話」では小学生向けに作家と一緒に楽しんでいただく講座として開催しました。また同日に大人向けとしてマナビスト講座「地域の伝承と怪談」を行い、対象別で怖さのレベルを替えてお話をいただきました。小学生からは「おばけの事がよくわかった」「とても怖かった」と、とても楽しんでいただけました。大人の部では次回を希望する声を多くいただくことができました。 ＜北分館＞ ・7月「親子で体験バルーンアート」を開催しました。小学生、親子が対象であり、とても楽しかったとお声をたくさんいただきました。 ・3月「管理栄養士のお味噌汁レッスン」を開催しました。大人の方向けに3回連続講座として3回行い、「貴重な体験となった」と	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。	

	・専門家などを講師に迎えたより専門的な知識を学ぶ講座の実施	3	<さだ> ・6月マナビスト講座「これから始める資産形成～つみたてNISA・iDeCo～」では、近畿財務局 財務広報相談室職員から、お金や将来設計で気を付けたいことなどをわかりやすく伝えていただき、お金の貯め方やリスクとリターンの関係など資産形成の方法を学んでいただきました。 ・12月には市民大学講座として、健康づくり「眼をトレーニングしよう！」を開催しました。大阪公立大学教授に動体視力を鍛えるための最先端のトレーニングや動体視力についてお話をいただきました。40代から80代までの方にご参加いただき、健康づくりへの関心の高さが伺えました。「年齢とともに衰える眼の働きが、日々のトレーニングである程度防げることがわかり、ぜひ実行したい」等のお声をいただきました。 ・12月には図書館との共催で「宇宙セミナー」も開催しました。宇宙航空研究開発機構(JAXA)職員から宇宙飛行士やロケット、宇宙ステーションに関する講義を行っていただきました。休憩時間や終了後にも多くの方が質問をされており、質の高い内容のセミナーを開催することができました。 <牧野> ・2月マナビスト講座「地域の伝承と怪談」では講師に作家の「田辺青蛙」「三輪チサ」さんをお招きしました。二人の作家さんから、地域の歴史や民俗・風土を怪談という角度から学んでいただきました。「もっと枚方の伝承を知りたい」「次回もありますように」との声をいただきました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
図書館子ども読書活動推進計画の趣旨に沿った子ども向けの事業、及び一般成人を対象とした図書館読書推進事業が具体的に提案されている（確認事項15）					
	・子どもの成長段階に合わせたサービスの提供	4	【共通】 ・第4次枚方市子ども読書活動推進計画、枚方市立図書館第4次グランドビジョンに基づき、乳幼児期、学齢期、ヤングアダルト期の子どもの成長段階に合わせてサービスを提供しています。 ・読書習慣を身につけてもらうよう読書シート（達成は20冊）を継続して配布しています。 配布枚数 さだ 1,060枚 牧野 764枚 20冊達成者 さだ 368名 牧野 217名（達成者には鉛筆をプレゼント） ・毎週土曜日の定例おはなし会を継続して実施しています。 <さだ> ・ひらかた絵本まつり期間（4月23日～5月12日）には、赤ちゃん絵本、絵本、小学校低学年、高学年、ティーンと、子どもの成長段階に合わせたジャンルを設定し「本のおたのしみ袋」を実施しました。（参加者：50名） ・夏季には「こわいはなしのおたのしみ袋」を実施。幼児、小学校低学年、高学年YAの全33セットを作成しました。4日間ですべて貸し出されるなど盛況に終了しました。 ・11月には「ぬいぐるみの図書館おとまりかい」を実施しました。以前はお迎え時にフォトアルバムをお渡ししていましたが、今回はリアルタイムに楽しんでもいただけるよう、Twitterを利用し、ぬいぐるみが図書館で何をしているか実況ツイートを行いました（予約投稿を使用）。お迎えに来た保護者に確認すると皆様楽しんでみていただけたとの返答があり、自宅でも楽しんでいただけた模様です。時流に合った工夫を加えることで、より図書館の事業に信頼を持っていただけるよう努めました。（参加者：9組） ・1月には「としょかん福袋2023」を実施しました。ほかの回と同様に、乳児・幼児・小学低学年・小学高学年・ティーンズ・一般向けと6区分に分けて、それぞれに合わせた資料を組み合わせました。「おたのしみ袋」は思わぬ資料との出会いを演出することができるため、利用者の読書幅を広げることが期待できます。毎回数日ですべて貸出されていることから、この図書館の意図が市民に伝わっているものと思われます。（参加者：55名） <牧野> ・ひらかた絵本まつり期間（4月23日～5月12日）に「青空おはなし会」（参加者：子ども5名、大人3名 計8名）、「えほんのおたのしみ袋」（参加者：30名）、「レッツ！OPACチャレンジ」（参加者：75名）を実施しました。「レッツ！OPACチャレンジ」はくじ引き・クイズ形式の行事で、子どもたちが楽しみながら本を見つけ、図書館に親しみを持ってもらうことに繋がりました。 ・夏休みには、じっくりと読書に向き合ってもらうことを狙い、昨年に引き続き「本のサマーギフト」（参加者：34名）を実施しました。対象学年ごとにギフトを用意、読んだ本を紹介する用紙も一緒に入れたところ、数名から返信をいただきました。また、「今年も楽しみにしていた」という声も寄せられました。 ・8月1日～5日「レッツ！としょかん探検」（参加者：子ども11名、おとな3名 計14名）を小学生低学年、高学年に分けて実施しました。普段は入ることのできない書庫やOPACに興味を持った子が多く、今回の探検で図書館をより身近な施設に感じてもらえました。 ・8月のおはなし会は恒例の「おぼけのおはなし大会」（参加者：子ども51名、大人26名 計77名）として実施しました。こわさのレベルを変えて3回実施、親子での参加が多く、おはなし大会後は展示していた本も多く貸出されました。	4	人気の高いイベントの内容を改良したり、SNSを活用して実況形式でイベントの様子を配信するなど、子どもの読書意欲を高める工夫・改善が行われていることを評価します。
	・乳幼児を含む子どもたちへお話会や工作会を実施	4	【共通】 ・定例の乳幼児向けおはなし会を継続して実施しています。（さだ：毎月第1・3水曜日「おはなしいっぱいおはなしかい」、牧野：毎月第3水曜日「親子でたのしみおはなし会」 <さだ> ・ひらかた絵本まつり期間に「おはなしかいスペシャル」として、いつものおはなし会に加え、工作会「クロクロカエルくを作ろう」（参加者：子ども15名、大人2名 計17名）「シールをベタベタはって こいのぼりを作ろう」（参加者：子ども1名、大人1名 計2名）「母の日のメッセージカード作り」（参加者：子ども5名、大人2名 計7名）を実施しました。 ・5月の「さだ若葉まつり」に合わせて図書館では工作イベント「ゆらゆらクラゲをつくろう」（参加者：子ども22名、大人10名 計32名）を2日間にわたって実施。整理券を配布しましたがすぐに定員に達するほどの盛況ぶりでした。 ・8月夏のおたのしみかいとして「夏のスノードームをつくろう」（参加者：子ども9名、大人10名 計19名）を実施しました。短い時間の中でも、お話と工作の両方を楽しんでもらえるよう、準備と参加者の作業時間などを工夫しました。 ・秋の図書館まつりでは「おはなしかいスペシャル①」（小学生対象）と「おはなしかいスペシャル②」（幼児対象）を実施しました。①では読み聞かせの後に、飛び出すお化けのおもちゃを作成しました。開始30分前にはお待ちの方がいらつしやり急遽整理券を配布するほどでした。②のほうは参加者4名のうち3名が乳幼児であったため、親子で楽しく参加いただけたようでした。（参加者①大人5名、子ども10名 計15名、②大人5名、子ども4名 計9名） <牧野> ・ひらかた絵本まつり期間中、5月9日に「絵本専門士がやってくる！にこにこ育児セラピストまさみさんの赤ちゃんおはなし会」を0歳児、1・2歳児の2部制で実施しました（参加者：5組）。絵本や育児についての専門的な知識に参加された方々も興味津々で多くの質問がでて充実した内容となりました。初めて子育てするパパママへの応援として今後も引き続き取り組んでいきたいと思っています。 ・7月30日は「おりがみおはなし会」（参加者：子ども8名、大人4名 計12名）を実施しました。自分の作ったおりがみ作品を発表する時間も設けたところ、参加した子どもたちはとても喜んでいました。 ・7月31日は工作会「かまぼこ板でカリンバを作ろう」（参加者：子ども5名、大人2名 計7名）を実施、工作は難しかったようですが、自分の楽器の音を出すことを楽しんでもらうことができました。 ・秋の図書館まつり（10月27日～11月9日）では「子どもむけ読書クイズ」（参加者：100名）、「おりがみおはなし会」（参加者 子ども 8名 おとな 3名 計 11名）を実施しました。「子どもむけ読書クイズ」では、問題を解くのに図書館内の本を使って調べたことを覚えてもらうことが出来ました。「おりがみおはなし会」では、前回と同様に自分の折った作品を紹介しあいしました。発表することにより、表現力を養うことに繋がりました。	4	絵本専門士による赤ちゃん向けおはなし会で子育てをする親同士の交流の機会を設けたり、工作会で子どもたちが自分が作った作品を紹介し合う時間を設けるなど、人と人との交流にも繋がっているところを評価します。
	・学齢期からティーンズ・ヤングアダルトに向けサービスの提供	3	【共通】 ・YAコーナーに「読売中高生新聞」を継続して提供しています。 ・ティーンズ向け機関紙「Highjunior☆SadaMaki」を継続して4月、7月、10月、1月に発行しました。 <さだ> ・7月には小学生向けに、夏休みの宿題や自学自習で役立つ、図書館での本の見つけ方や調べ方を一緒に実践しながら楽しく学べるイベント「子どものための図書館活用術」（参加者：子ども4名、大人1名 計5名）を実施しました。今年3回目となるこの事業ですが、今回は事前問い合わせなどもあり、回を重ねるごとに認知度が上がってきているものと考えられます。 <牧野> ・YAコーナー内に月替わり特集展示を開始しました。「勉強法」「政治と選挙」等、YA世代に関心が高いテーマ、社会的話題になっているテーマなどを取り上げています。 ・Twitterにてティーンズ向け機関紙「Highjunior☆SadaMaki」や特集展示ブックリストを発信しています。 ・YA向け図書館利用案内を作成し、YAコーナーに設置開始しました。 ・YAコーナーに「受験・進学・就職コーナー」を継続して設置しています。YA世代の関心の高いジャンルでもあり「なるには」等、資料を新しくしています。 ・YA世代から読後感想文を募集しPOPにしてYAコーナーへの展示を継続しています。 ・秋の図書館まつり期間には10月30日「みんなでおススメをシェアしてブックリストを作ろう！」を実施(参加者8名)しました。YA向け本の展示やYAコーナーの紹介を行い、おススメ本の紹介を募集し、図書館員のおススメ本とあわせてブックリストを作成しました。YAコーナーについては小学生、その保護者が関心を寄せていました。 ・パスファインダー「SDG s（食と食文化）」を新しく追加、既存のパスファインダーも紹介本を更新しました。 ・「こどものための図書館活用術」を3月26日に実施（参加者 5名）、調べ学習につながるよう辞書・事典、OPACの使い方に加えて図書館員に尋ねるという調べ方や、それぞれの調べた成果をまとめる方法も紹介しました。参加した子どもたちは課題に熱心に取り組んでいました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。

	・高齢者の居場所づくり、日常的な課題にたいしてのイベント開催	4	<さだ> ・6月に恒例となっている「初心者向けくずし字講座」（参加者：延べ39名）を実施しました。毎回定員に達する人気イベントで、講師は市立枚方宿鍵屋資料館学芸員の片山正彦先生です。 ・10月には「大人の読書手帳」を実施しました。配布開始前から楽しみにしているとの声がかかるなど、事業が定着してきていることがうかがえます。児童向けの読書シートも配布を継続しておりこれとあわせて、読書の記録をつけることへの需要を感じています。（参加者：50名） ・11月には「本と雑誌のリサイクル市」を実施しました。150名近い参加があり図書館のイベントとしてはたくさんの市民に参加いただけたことに安心しました。一方で、これだけの人数だったために、開始前の行列の管理等が難しく課題となりましたが、来年度実施時の教訓とします（参加者146名 冊数624冊） ・2月には「鉄道おもしろ講座」を実施しました。今回は大人の方の参加が多く、落ち着いた会となりました。書庫にある古い雑誌も貸し出されるなど、書庫資料の貸出にもつながっています。アンケートにはすでに再実施希望の声があるなど、大変人気の高い講座になりました。（参加者 大人17名、子ども5名 計22名） ・3月には地域歴史講座として「淀川」の歴史を開講しました。申込受付日には定員が埋まるほどの需要があり、やはり地域の歴史に関する講座は市民の関心が高いことを改めて感じました。専門家による60ページを超える資料と90分にわたる講座とあって、参加者の満足度も高いものでした。終了後も質問者が列をなしていたことが印象的でした（参加者：23名） <牧野> ・5月に「初心者向けくずし字講座」（参加者：延べ36名）を実施、連続4回講座を熱心に受講していただきました。講師への質問やくずし字に関連する資料の紹介も受講者側から活発に行われました。 ・6月18日、まきの文化祭にて「手島圭三郎絵本原画展」を開催、19日～24日まで図書館内で引き続き開催し多くの方に鑑賞していただきました。図書館という身近な場所で原画に触れることが出来たことに感動された方も多く、会期中、何度も訪れた方もいらっしゃいました。 ・秋の図書館まつりでは、10月31日に「シニアにむけたおはなし会」（参加者：15名）を実施、絵本専門士グループによるおはなし会で絵本の魅力を伝え、新しい読書の世界を開きかけとなりました。また、期間中は「読書手帖」（参加者：100名）、「大人向け読書クイズ」（参加者：50名）を配布しました。「読書手帖」は楽しみにしている方も多く、過去の手帖を見せてくださる等、ご自身の読書記録を控えていくことに喜びを感じられている様子でした。「大人向け読書クイズ」も好評で、解答がわかり、クイズの出題本を早速借りられる等、読書意欲の高まりに繋がりました。 ・毎月お題が替わる「俳句ポスト」を通年設置、俳句資料の配架棚へも投句呼びかけポスターを掲示し、参加を募っています。 ・以前より開講を望む声の高かった「朗読を楽しむ講座」を10月～1月に毎月1回連続4回で実施（参加者延べ41名）、講座終了後に参加者を募り4月に一般聴衆の前で発表会を予定しています。 ・11月23日に「野鳥とめり絵の講座～枚方市の鳥「カワセミ」を知ろう～」を実施（参加者：9名）、今年度は「めり絵」の前にカワセミの生態について講義を行っていたいた後に、めり絵に取り組んでもらいました。市の鳥カワセミに、より愛着・関心を持たれたようです。 ・1月29日に「水彩画のポストカード作り」を開催（参加者：15名）しました。お互いの作品を鑑賞しあったり、画材について教え合ったりと参加者同士の交流も見られました。水彩画を続けてやってみたいという参加者にはセンターを利用している水彩画サークル活動についてご案内しております。 ・2月5日に「バリアフリー映画会（『天国からのエール』）」を実施（参加者：45名）しました。視覚障害者、難聴者の参加があり副音声、字幕が役立っていたとともに、参加された方々にバリアフリーについて理解を深めるきっかけになりました。 ・2月26日に「鉄道おもしろ講座」を実施（参加者 おとな11名 こども5名 計16名）しました。信号、記号の意味、レールやモーターについての話や貴重な映像もあり、電車に詳しい方にも大いに楽しんでいただきました。 ・3月5日に「第10回地域歴史講座」を実施（参加者：23名）しました。テーマを「楠葉牧の成立～『牧野』地名の源流～」とし、地元の歴史に興味のある方々への学びの意欲を高めることに繋がりました。	4	利用者ニーズをとらえ、ターゲット層を明確にしたイベントを積極的に実施するとともに、絵本専門士によるシニア向けおはなし会などユニークなイベントを企画していることを評価します。
生涯学習市民センターと図書館との施設連携事業の実施について、具体的に提案されている（確認事項16）					
	・市民センターでも貸出した図書を楽しむことができる雰囲気醸成	3	【共通】 ・センター利用者向けに、サークルの活動内容に合わせた図書館書架案内の設置を継続しています。牧野北分館では、バレーボールやバドミントン等も出来る集会室もあるので「スポーツ」を新たに加えました。今後も、この案内の種類を増やすことやブックリスト添付を計画し、図書館をより役立てていただけるよう努めます。 <さだ> ・図書館貸出し図書以外にも、2階ロビーに図書コーナーを設置しており、ロビー内で気兼ねなく自由に読書を楽しんでいただいています。 <牧野> ・読書をしながら緑（植物）を楽しんでもらえる心地よい空間を演出するため2階ロビー周りで観葉植物を育てております。季節に合わせて向日葵、サボテン3種、ハイビスカス、マザーリフを育てており、特にハイビスカスは今後どう育つのか楽しみにしていただいています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
	・「図書館活用方法講座」、「物語食堂」、「枚方の歴史散歩講座」など連携事業を企画し実施	3	【共通】 ・事業における連携として、センターイベント開催時における図書館資料展示があります。関連資料を展示することで、参加者がイベントテーマをより深く知る・学びの一助となるよう、また図書館資料利用促進として継続しています。 <さだ> ・「これから始める資産形成～つみたてNISA・iDeCo～」 「ボランティアを学び体験してみよう～今日から始まる、笑顔でボランティア～」 「親子で学ぶスマートフォン講座」「家電リサイクル博士になろう！」「おてだまあそび～人とながるツール～」 「サンサン人形劇：スイミー」「ワタシと地球～フードマイレージ買物ゲーム～」「ナイト椅子ヨガ」「折り紙で作るサンタボックスとリース」「クリスマスワークショップ」「健康づくり眼をトレーニングしよう！」「冬の寄せ植え」「飛び出すクリスマスカードとお正月飾り」「苔玉作り」「チョコレートの世界へようこそ！」「フランス料理教室」「ひなまつりの集い」「はじめてのパン作り」「ボードゲームカタンを楽しもう」 ・2月には「冬の映画観賞会」を実施。当日の展示だけでなく、実施までの一か月程度関連資料を展示し、事業への誘導を行いました。また、上映終了後に図書館スタッフによる関連資料の紹介の時間を設けたことにより、当日展示資料の大部分が借りられるなど、よりよい連携になりました。（参加者大人55名、子ども49名 計104名） <牧野> ・「もっと知りたい枚方市：九頭神廃寺とその周辺の発掘調査」「家電リサイクル博士になろう！」「おもしろ科学教室」「将棋のじかん」「トルコガラスでキャンドルホルダー」「こわい明かりとこわい話、地域の伝承と怪談」「チョコレートの世界へようこそ！」「アンモナイトの不思議」 ・2月4日の「地域の伝承と怪談」ではひらかた電子図書館の特集“耳で聴く怖い話”（当時）を紹介、当日の怪談語りの雰囲気自宅でも楽しめることに興味を持たれた方もいらっしゃいました。 ・牧野北分館10月の「おいしい紅茶の淹れ方」では会場内資料展示ができないため、書影を付けたブックリストを作成しました。 ・センター・図書館連携事業として図書館職員による読み聞かせの後、本の中に出てくる料理を実際に作ってみる講座を3月25日に「お話の世界「ぐりとぐら」のカステラ～物語食堂」として開催しました。6歳～10歳までの小学生が参加され、参加者全員から「とても楽しめた」との回答を頂く事が出来ました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。

	・施設全体で統一テーマによるイベント開催	3	【共通】 ＜さだ＞ ・6月と11月に「sada Clean Day」を開催しました。年2回の開催で、センター・図書館・清掃職員と一緒に、普段ご利用いただいている利用者に呼びかけ、施設周辺の清掃活動を行いました。参加者が率先して清掃にあたっ下さり、声がけをしながらきれいになっていくことで、皆が自然と笑顔になりコミュニケーションの向上へとつながりました。 ・12月JAXA職員を講師に招き、「宇宙セミナー宇宙の不思議な世界」を実施しました。小学生から大人まで幅広い年齢層の参加者があり、かなりマニアックな質問も出るなど盛況でした。実施一か月前から図書館内での関連資料展示と装飾を行っており、これについても動きがみられたほか、講師におすすめの本を紹介してもらうなど、センターと図書館それぞれの利用者へのアプローチを図ることができました。（参加者 大人30名、 子ども18名 計48名） ・2月に図書館との共催事業として「冬の映画鑑賞会」を開催しました。鑑賞会だけでなく、作品の解説を行い、作品に込められたメッセージから人権意識を高めていただく企画としました。 ＜牧野・北分館＞ ・6月に施設統一テーマとして「梅雨の展示」を行いました。図書館では梅雨を題材にした本の展示を行い、センターでは「ばらそるあ〜と」講座を開催。傘にオリジナルの模様を描き、作品展示を行いました。 ・7月23日～8月23日の間で環境対策の一環として、打ち水大作戦に参加。雨水や二次利用水を活用して行いました。施設利用者の他にも、施設の前を通る学生さん達にも涼を感じて頂ける結果となりました。 ・枚方市環境政策課の緑のカーテンコンテストに参加。来館する度に育っている様子を見ることができて楽しいとの声もいただきました。収穫できたゴーヤは利用者にお裾分けを行い、大変喜んでいただきました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
	・市民が気軽に立ち寄れる雰囲気醸成することで居場所づくり	3	【共通】 ・季節毎に館内装飾を充実させ、施設に親しみや興味を持ってもらい次回来館時の楽しみに繋がるように取り組んでいます。また、Twitter、Facebook等のSNSやYouTubeで館内の様子を配信する事で、施設に行ってみたいと思わせるような仕掛けづくりなど継続して取り組んでまいります。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
牧野施設の1階ロビー（エントランス）や、蹠跣施設の夜間の時間帯における事業の実施について、具体的に提案されている（確認事項17）					
	・1階ロビーは季節に合わせた館内装飾や季節のイベントを実施	3	【牧野】 ・桜のアーチ装飾、五月人形やこいのぼり飾りや梅雨をモチーフにした飾りを行い、6月には講座としてバラソルアートを開催。傘にオリジナルの模様を描き、展示を行う事によって利用者と共にセンターの装飾を行いました。 ・夏祭り出店をモチーフにした飾りつけや秋の味覚飾り等、来館者が来るたびに見て楽しめる装飾作りを行っております。 ・10月に牧野愛する商店会と協働し、ハロウィンイベントを開催しました。1階と2階ロビーにもハロウィンの飾り付けを行うことでスタンブラリーカードを取りに来た方にハロウィンの雰囲気を楽しんでいただきました。 ・クリスマス、お正月、バレンタイン等季節に合わせた館内装飾を行いました。 ・1階ロビーの装飾に合わせて図書館内で関連資料の展示を行い、季節感を味わってもらうことが出来ました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
	・ビジネスマンや女性を対象とした蹠跣施設の夜間時間帯を活用した事業の実施	4	【さだ】 ・11月「ナイト椅子ヨガ」を開催しました。仕事帰りに立ち寄れる夜間時間帯を利用した講座であったため、広報活動として仕事帰りの時間帯に光善寺駅前でチラシ配布をしたことでチラシを見てご参加された方もおられました。アロマや音楽で心地よい雰囲気作りをし、参加者からは「とてもリラックスできた」というお声をいただき、大変充実した講座となりました。	4	イベントを実施する時間帯に駅前でチラシを配布するなどターゲットとする利用者層への効果的なPR活動行っていることを評価します。
「滞在型図書館」「課題解決型図書館」のコンセプトを具体化するアイデアが提案されている（確認事項18）					
	・複合施設としての新たな魅力あるサービス・空間を創出	3	【共通】 ・施設全体を大きな図書館として捉え、利用者のスタイルに合わせて図書館、ラーニングルーム、2階ロビーで自由に読んでいただけるよう継続して案内しています。 ・2階ロビーでは、図書館のイベント広報やY A 機関紙の設置、書籍の紹介等を行い、一体感の雰囲気作りを行っています。 ＜さだ＞ センターが作成したサークル団体紹介のチラシを、図書館職員が貸出図書と一緒に配布し、図書館利用者がセンターのサークル活動に興味を持っていたけるよう複合施設として新たなサービスの提供をしました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
	・滞在型図書館としての環境整備、事業の実施	3	【共通】 ・感染症拡大防止のための規制が緩和される中でも、利用者に安心してご利用いただけるよう、換気・消毒の徹底やパテーション設置、マスク着用、手指消毒の奨励などを継続しています。ラーニングルームのご利用者からは「自習も沢山させてもらいました」といったお声をいただきました。 ・図書館内では、目的の本を借りるだけでなく、書架の間を歩いているだけで新たな本と出会えるような場を目指し、多様な観点から特集展示、面出しに取り組んでいます。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
	・図書館が課題解決の場となるような取り組み	3	【図書館】 ＜共通＞ ・枚方市から届く啓発チラシやグッズを提供する際に、図書館資料の紹介を行っています。（9月福祉事務所「認知症啓発」、11月保健課「薬物乱用防止＆食中毒予防」）。 ・利用者からのお問い合わせの際は、図書館流通センターの図書館専用Webシステム「TOOLi」、NDLレファレンス協同データベース等を活用しています。過去に受けた質問は記録として残し、スタッフ間で共有し回答プロセス等を別のレファレンスに活用しています。また、利用者に気軽に声をかけてもらいやすいように「調べもの」という言葉を使用し、フロアワーク時にも積極的にお声がけを行っています。 ・図書館流通センター、外部のレファレンス研修を受講したスタッフから館内でフィードバック研修を行い、継続的にレファレンス力向上に努めています。 ＜さだ＞ 7月には小学生向けに、夏休みの宿題や自学自習で役立つ、図書館での本の見つけ方や調べ方を一緒に実践しながら楽しく学べるイベント「子どものための図書館活用術」（参加者：子ども4名、大人1名 計5名）を実施しました。今年3回目となるこの事業ですが、今回は事前問合せなどもあり、回を重ねるごとに認知度が上がってきているものと考えられます。 ＜牧野＞ ・日常生活のふとした疑問解決に活用してもらえるよう、子育て応援コーナーや健康に特化したいいききコーナー、「だれでもやさしく読める本」LLブックコーナーを設けています。 ・子ども向け行事「レッツ！OPACチャレンジ」「子ども向け読書クイズ」では楽しみながら、図書館資料を使い問題を解くことを覚え、図書館に親しみを持ってもらうことに繋がりました。「子どものための図書館活用術」では、調べ学習につながるよう辞書・事典、OPACの使い方に加えて図書館員に尋ねるという調べ方や、それぞれの調べた成果をまとめる方法も紹介しました。 ・YAコーナー内では「受験・進学・就職コーナー」やパスファインダーを設置し、YA世代にとって関心の高いジャンルの情報提供に努めています。	4	子ども向け図書館活用講座など、図書館が課題解決の場であることをPRする取り組みを継続的に実施していることを評価します。 今後は、大人向けの図書館活用講座などの実施を期待します。

3				
利用者に対する接遇対応向上について、具体的に提案されている（確認事項19）				
・利用者との日常のコミュニケーションを重視したホスピタリティある対応	3	【共通】 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をとるなかで、利用者の安全を第一に考慮し、距離をとりながらの声掛けやコミュニケーションを図りました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・ホスピタリティ（接遇・マナー）研修の実施	3	【センター】 <共通> ・2月「利用者対応・電話対応のマナー研修」 【図書館】 <さだ> ・10月「認知症についての理解と対応時における配慮について」 ・1月「傾聴」 <牧野> ・12月「カウンター事例、アンケートご意見から対応を考える」	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・見やすい掲示板の作成	3	【センター】 <さだ> ・2019年から階段の各踊り場に掲示板を設置し、継続活用しています。 <牧野> ・2019年から掲示やチラシラックを分かりやすく分類し、継続活用しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・市内・地域内の情報集約及び発信	3	継続実施中 【共通】 ・総合窓口、2階センター窓口で身近な情報収集をはじめ広報ひらかた等様々な媒体から新しい情報を収集し提供しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
利用者が安全に利用できるよう施設内で発生するトラブルへの対応方法等について提案されている（確認事項20）				
・苦情対応マネジメントシステムを構築する	3	【共通】 ・苦情発生時には、日報に記載し対応策を含め全職員で共有しています。 また、合同朝礼にてセンターと図書館で情報共有しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・ヒヤリ・ハット事例集を作成、対応策の開示・共有	3	【共通】 ・職員全員が日頃ヒヤリとした、ハットした事例をヒヤリハット簿に書き込み、事例集として全職員に共有しています。 さだ5件、牧野11件、牧野北41件。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・苦情対応マニュアル作成と研修の徹底	3	【共通】 ・トラブル・苦情があれば、必要に応じて報告・説明し、月例報告書にて最終的に報告しています。また、必要な場合は施設内に掲示し施設としての対応を明確にしています。 <センター> ・「苦情・要望対応ガイドライン」の冊子を設置し、苦情・要望に対する基本的な考え方や対応手順等、職員に周知しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
利用者等の安全・財産の保全・秩序維持のための適切な対応方法等について提案されている（確認事項21）				
・施設の運営に関する基本的な資格の積極的な取得	3	・各施設に必要な資格者を選任しています。 【さだ・牧野】防火管理者・電気主任技術者・建築物環境衛生管理技術者 【北分館】防火管理者 ・その他、利用者の安全確保や秩序維持のための訓練や研修を積極的に実施しています。「危機管理研修」「消防訓練」「防犯訓練」「MFA講習」 「安全監査」「救命入門講習」「普通救命講習」「上級救命講習」 「研修 災害と図書館」など。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・安全備品を設置	3	【共通】 ・救急箱の設置、職員用の緊急時持ち出し袋を整備しています。また、備蓄品の使用期限や救助救出用資機材の必要数等を定期的に確認しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・施設賠償責任保険への加入	3	【センター】 ・三井住友海上保険「賠償責任保険」に加入しています。 【図書館】 ・損害保険ジャパン「賠償責任保険」に加入しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
市民サービス向上の観点からセルフモニタリングの計画を提案するとともに、利用者に対するアンケートについて、具体的に提案されている（確認事項22）				
・改善点やご意見等の情報開示	3	【共通】 ・改善点やご意見があれば、随時館内に掲示し、ご回答いたします。 ・令和4年度第1回利用者アンケートの集計結果は10月に館内・ホームページにて掲載をしました。 ・令和4年度第2回利用者アンケートの集計結果は3月に館内・ホームページにて掲載をしました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
【施設の管理に関する事項】				
関係法令及び本市条例・規則を遵守し、施設の設置目的に沿った運営計画が提案されている（確認事項23）				
・公平・公正な利用の確保を徹底	3	・正当な理由なく施設の利用を拒むことや、不当な差別的扱いは行わず、公平・公正な利用の確保を徹底しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
建築設備全般に係る点検・保守を適切に実施し、機能保全・利用者への安全、快適な環境が提案されている（確認事項24）				
・用途、特性に合わせた日常的な安全点検の実施	3	・「建物維持管理業務報告書」「修繕計画・実績表」を作成し、毎月開催する指定管理者運営会議で不具合事案等を確認しています。不具合事案等の優先順位を協議し、経費を最大限活かせるよう努めています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
施設内で生じた廃棄物の適切な一時保管、搬出・処理の提案がされている（確認事項25）				
・関係法令に従った廃棄物の適切な一時保管、搬出・処理の実施	3	・各施設で保管場所を定め、一般廃棄物、産業廃棄物、資源ごみを分別し、枚方市長から許可を取得している廃棄物収集運搬業者と契約し、適切に廃棄物を処分しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
備品管理に当たり、管理簿の整備並びに責任所在について提案されている（確認事項26）				

	・備品台帳と現物とを照らし合わせ有無や欠損、番号など表記など基本情報を確認	3	【センター】 ＜共通＞ ・6月に「無償使用可能備品等一覧表」の現物確認を行いました。 内容変更があった場合は、随時更新を行い整備しています。 ・3月に「無償使用可能備品等一覧表」の現物確認を行いました。 【図書館】 ＜共通＞ ・図書館備品については6月、3月に現物確認を行いました。 ・「枚方市備品等無償使用可能一覧表」及び「TRC管理物品一覧」を引き続き整備し、変更が生じた場合は随時更新しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
業務仕様書の規定に従い、資格を必要とする業務に有資格者を配置するなど適正な人員配置が提案されている（確認事項27）					
	・有資格者や経験者を積極的に採用し、よりよい施設の管理運営を実施	3	【共通】 ・よりよい施設の管理運営を実施するために、月例のＪＶ運営会議を開催し、施設設備・施設運用・事業展開について情報共有を徹底しています。 【図書館】 ＜さだ＞ ・司書率 72.2% ＜牧野＞ ・司書率 83.3%	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
公正採用への対応として、大阪府公正採用選考人権啓発推進員設置要綱、又は大阪府働局公正採用選考人権啓発推進員設置要綱に基づき、「公正採用選考人権啓発推進員」を設置している（確認事項28）					
	・公正採用選考人権啓発推進員の選任	3	【小学館集英社プロダクション】 ・人事機能を要する東京本社の子代田区に公正採用選考人権啓発推進員を配置しています。 【図書館流通センター】 ・東京都文京区と大阪府吹田市に公正採用選考人権啓発推進員を設置しています。 【長谷工コミュニティ】 ・大阪府働局・大阪府公正採用人権啓発推進員を選任しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
全ての従事者が人権について正しい認識を持って業務を遂行できるよう人権研修について提案されている（確認事項29）					
	・従事者全員が人権についての理解を深める研修の実施	3	【センター・図書館】 ＜共通＞ ・11月大阪法務局人権擁護部による人権研修「インターネット人権侵害・高齢者の人権」を実施しました。 【長谷工コミュニティ】 ・7月に全社員がeラーニングによる「コンプライアンス」研修を受講しました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
障害者法定雇用率が達成されている（申請段階で未達成の場合は、本施設における雇用をはじめ雇用率が達成できるよう事業計画書で提案されている）（確認事項30）					
	・構成各社での障害者法定雇用率の達成	2	【小学館集英社プロダクション】 ・令和4年6月1日時点で雇用率1.65%と法定雇用率達成には全体で3名不足しております。引き続き、障害者専用の人材紹介会社に一般事務・経理部門・システム分野の紹介をお願いし採用活動をすめながら、会社全体で取り組みについて改めて検討しております。 【図書館流通センター】 ・障害者雇用率は2.41%で法定雇用率を達成しています。（令和4年6月1日現在） 【長谷工コミュニティ】 ・長谷工グループ内に特例子会社を設立し、平成21年に「関係会社特例制度（グループ摘要）」の認定を受けています。令和4年6月1日時点ではグループ全体で226名の障害者を雇用していますが、雇用率は2.25%で法定雇用率達成には5名不足の状況です。サテライトオフィス拡張による雇用環境の整備及び行政主催の面接会やマッチング会等にも参加し、雇用率達成に向け取り組んでいます。	2	今期の指定管理期間中、残念ながら達成ができませんでした。 次期指定管理期間ではできるだけ早期の達成に努めてください。
男女雇用機会均等法に基づくセクシャル・ハラスメント防止対策について提案されている（確認事項31）					
	・セクシャル・ハラスメントおよびパワーハラスメントの防止を就業規則・マニュアルに記し、発生の防止に努める	3	【小学館集英社プロダクション】 ・ハラスメントの社外相談窓口を設置しています。「電話相談」および「web相談」ができるハラスメント相談窓口となっており、弊社で雇用しているすべての職員が利用できます。また社内で「ハラスメント委員会」を設置しており、相談しやすい環境整備の一環として社内にて相談をお受けする「相談チーム」を設けています。 ・事務所内に、ハラスメント防止ポスター「STOPハラスメント 許されません！こんなこと」を掲示しており、ハラスメントへの意識向上・啓発を図っています。 【図書館流通センター】 ・MCHグループに設置している内部通報窓口「コンプライアンスデスク」や「ハラスメントを許さない」のポスターを事務室内に掲示しています。また、内部監査実施時には監査員がスタッフに対してハラスメントに関する聞き取りを実施しています。 【長谷工コミュニティ】 ・長谷工グループでは、ハラスメントの防止は職場で働く一人一人が各々の個性や価値観を尊重しつつ、能力を発揮できる良好な職場環境を実現するために不可欠な取り組みであると考えています。ハラスメントの防止に向けて社内イントラを活用した情報発信や、eラーニング教育による周知徹底を図っています。また、「長谷工グループハラスメント防止規定」を制定し、職場におけるハラスメントの対処法を定め運用しています。また、公益通報者保護法並びに関連法規に則り「長谷工グループ内部通報相談者保護規定」を定め、全社員から公益通報、ハラスメント及びコンプライアンス全般（汚職・贈賄などによる腐敗防止を含む）に関する相談等を受け付ける通報相談窓口（匿名可）をリスク管理部コンプライアンス室及び社外窓口として法律事務所に設置しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
【情報公開及び個人情報保護の措置に関する事項】					
枚方市情報公開条例の目的等を踏まえ、管理運営事業で保有する情報の公開に関する対応が明確に示されている（確認事項32）					
	・情報公開の開示請求があった場合、枚方市と迅速に相談・協議し審議をかける	3	【共通】 ・必要に応じて行っています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
	・要望の改善結果や、施設利用者アンケートの集約結果の公開	3	【共通】 ・第1回利用者アンケートを8月15日から9月14日まで実施しました。 さだ 配布枚数 1,300枚、回答850名 牧野 配布枚数 650枚、回答500名 北分館 配布枚数 300枚、回答185名 ・アンケートの集計結果は10月に館内掲示板・ホームページに掲載しました。 ・第2回利用者アンケートを1月15日から2月14日まで実施しました。 さだ 配布枚数 1,430枚、回答717名 牧野 配布枚数 500枚、回答430名 北分館 配布枚数 200枚、回答144名 ・アンケートの集計結果は3月に館内掲示板・ホームページに掲載しました。 ・アンケート用紙は、期間中にセンター諸室利用者・図書館利用者に配布しています。さだ・牧野の配布枚数差は月館利用者数の差によるものです。さだ・牧野第1回期間の利用人数差（956名）第2回期間の利用人数差（1552名） ・ご意見箱にいただいたご要望等は、ファイルし閲覧できるよう公開しました。 さだ 5件、牧野 1件、北分館 0件となっています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。

枚方市個人情報保護条例の目的等を踏まえ、個人情報の保護に関する必要な措置について明確に示されている（確認事項33）				
・『情報管理委員会』の設置を検討	3	【小学館集英社プロダクション】 ・本部の危機管理室にて管理体制を構築しています。 【図書館流通センター】 ・個人情報保護方針を定め、その実施のための個人情報保護マネジメントシステムを構築しています。 【共通】 ・毎月開催のＪＶ運営会議の中で、個人情報保護や情報管理に関する事項を共有しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・従事者研修を年1回以上実施	3	【センター】 ＜共通＞ ・「個人情報保護研修」を9月、10月に全職員がオンラインで受講しました。 【図書館】 ＜さだ＞ ・Ｐマーク研修を9月に実施しました。 ＜牧野＞ ・Ｐマーク研修を8月に実施しました。 【長谷工コミュニティ】 ・今年4月の個人情報保護法の改正を鑑み、今年度リスク予防活動の長谷工グループ共通重点方針として「個人情報の適切な取り扱い」を掲げ、5月から6月に全社員が「個人情報保護法 研修会」をオンラインにて受講。10月にeラーニングによる確認研修を受講しました	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
【緊急時における対策に関する事項】				
両施設（監視盤等）の状況を踏まえ、緊急時・防犯・防災対策の危機管理マニュアルの作成等が提案されている（確認事項34）				
・日常的に危機管理、安全対策に取り組む	3	【共通】 ・危機管理体制を構築しています。毎日、勤務体制に応じて役割分担をしています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・未然防止として設備の点検・整備を行う	3	【共通】 ・定期的に防火・防災訓練を行い、緊急時の対応方法や、非常用設備の取扱方法の確認等、生涯学習センター及び図書館スタッフ全員が参加し周知しています。今期は消防訓練を6月、1月に実施しました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・館内巡回を実施	3	【共通】 ・センターと図書館とが一体となり館内の巡回を実施しています。 ＜さだ＞ 定期巡回 5回（開館時、12:30、15:00、17:00、閉館時） 1階フロア・図書館内1時間毎 駐輪場・駐車場 6回（開館時、9:30、11:00、14:00、17:00、閉館時） ＜牧野＞ 定期巡回 5回（開館時・11時・13時・16時・閉館時）その他、利用等に応じて適時追加巡回をおこなっています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・リスクマネジメントの徹底	3	【共通】 ・防犯研修を9月に、センター・図書館合同で行いました。枚方警察 生活安全課 防犯係の指導で「公共施設への不審者侵入時の危機管理」の研修を実施しました。不審者侵入を想定したロールプレイングを行い、不審者が侵入した場合の職員の対応など、具体例や実例を聞き、意識向上を図りました。訓練後には、緊急時の対応やリスクについての協議も行っています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・安全管理委員会を開催	3	【共通】 ・ＪＶ運営会議にて、リスク発見、優先順位、対策を考慮しながら実施しています。 【小学館集英社プロダクション】 ・本部にて安全管理委員会を開催し、安全管理に関する情報共有や対策について話し合い、取り組んでいます。また、安全推進監査室による現場監査を9月に実施しました。1次監査（施設による自己監査）2次監査（前述推進室による監査）と80項目以上のチェック項目を確認し改善に努めています。 【長谷工コミュニティ】 ・年間計画に基づき実施している各種点検において、確認された不具合等を毎月開催する指定管理者運営会議にて報告し、対応方法を協議しています。特に利用者の安全にかかわる事項を最優先に対応する様注力しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
緊急事態発生時又は発生が予測される場合における常時連絡可能な体制・方策が提案されている（確認事項35）				
・「危機管理マニュアル」を整備し、迅速かつ確実に対応できるよう研修を実施	3	・「危機管理マニュアル」を常に整備しています。 ・火災や地震発生の状況を想定した避難訓練、危機管理マニュアルの読み合わせや防災研修を実施し、迅速に対応できるよう意識向上を図っています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・「緊急連絡網」を整備し、緊急時における連絡体制の構築	3	・「緊急連絡網」を整備し、緊急時には出勤可能な職員から始動できる体制を構築しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・緊急時での情報収集に努めるとともに、関連各所に迅速に連絡が行き届く体制整備	3	・警報発令時は、スタッフを複数体制で待機。情報収集をし、各社本部と連携を取りながら枚方市に迅速に連絡できる体制を整えています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
構成員間（本支社間含む）、市との間におけるリスク分担に対する考え方が明確に示され、かつ考え方に対応した分担内容となっている（確認事項36）				
・『枚方市地域防災計画』に則り、速やかに枚方市へ報告する	3	・緊急時には、迅速に対応し枚方市へ報告、指示を仰いでいます。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・「リスク分担表」に則った責任分担を理解している	3	・リスク分担表に則っています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。

【その他】				
利用者サービスを維持・向上させる具体的な取組みについて提案されている（確認事項37）				
・利用者の意見を基に企画改良に努める	3	【センター】 <共通> ・利用者アンケートやイベント、講座の開催時にはアンケートをとり、利用者の意見を活かし企画内容の改良に努めています。 ・老朽化している備品に対してご意見をいただき、耐用年数も視野に入れながら安全にご利用いただけるよう、修繕・新調を検討してまいります。 <さだ> ・7月「眠りの質を改善！睡眠セミナー」の講座中、音楽室利用の和太鼓の音が響き集中力の妨げになったため、諸室を決める材料として考慮いたします。 <牧野> ・昨年度末の利用者アンケートより「地元で活躍されている方の講座」という声がありましたので、地元で活躍されている作家さんをお迎えし、センター図書館の共催事業として、2月に「こわい明りとこわいお話」やマンガ講座「地域の伝承と怪談」の企画を行いました。 【図書館】 <共通> ・電子図書館の使い方がわかりにくい、というお声を受けて、9月に電子図書館体験会を実施しました。今後も電子書籍利用促進のための事業を計画していきます。 ・開催済事業の再実施を求めるお声をうけて「鉄道おもしろ講座」「地域歴史講座」等を実施しました。当時のアンケート結果を講師と共有し参加者のお声を反映させることに努めました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・ノウハウとネットワークを最大限に活用し、本事業の利用者サービス向上に努める	3	【センター】 <共通> ・小学館集英社プロダクションでは、全国の施設から集まる「責任者会議」「安全管理担当者会議」を開催しており、他施設の運営方法や講座・イベント運営情報共有することで利用者サービスの向上に役立てています。 【図書館】 <共通> ・図書館流通センターでは全国の指定管理館の取り組み、サービス、自主事業等の様々な情報を共有できるデータベースを構築しています。この機能を活用して講座やイベント、運営方法など参考に事業展開しています。 ・他受託館作成のビクトグラム付き書架見出しを基に、自館仕様に変更し活用しています。 <牧野> ・図書館流通センター紹介事業として「おぼえずかん映画冊子配布」を映画公開に先駆け5月から、「手島圭三郎絵本原画展」を6月に、「こどものための100冊展示」を7月～9月にかけて、「野鳥とめりえ講座」を11月、「バリアフリー映画上映会」を2月に実施しました。通年では「俳句ポスト」を実施しています。その他、展示・配布用として「LLブックパネル」、「JAXA's」（JAXA機関紙）、子育て情報誌「Happy-Note」を活用しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・新たな自主事業の実施により、図書館の機能・利用価値を効果的にPRする	3	【センター】 <共通> ・オンラインを活用した企画として、2021年8月にYouTubeに「さだ・まきの文化創造プロジェクト公式チャンネル」を開設しました。今年度はチャンネル登録者を38名増加させ、現在は93名となっております。 ・センター便りやセンター掲示ポスター、ホームページで案内し、視聴して頂けるよう広報しております。 <さだ> ・来館者の健康増進を意識した新しい事業の試験的運用を検討しています。 ・イベントや講座、施設利用の案内等、広報活動の見直しを行い施設の知名度アップにつながる検討し実施しています。 <牧野> ・利用者アンケートを元に「地元で活躍されている方の講座」という声がありましたので、地元で活躍されている作家さんをお迎えし、図書館と協働し、2月に「こわい明りとこわいお話」やマンガ講座「地域の伝承と怪談」を開催していただく企画を行いました。 ・Twitter、Facebookの発信の内容を見直し、より身近な話題等を発信する事で施設に興味を持って頂くよう努め、Twitterでは前年度のアクセス数月平均4,500から現在14,000と大幅に上昇する結果となっています。 【図書館】 <共通> ・ひらかた電子図書館をより多くの市民に知ってもらうため9月3日香里ヶ丘図書館を会場に「ひらかた電子図書館体験会」（参加者：大人 25名、子ども4名 計29名）を実施しました。9月後半の16日間が臨時休館、その期間にも読書環境提供するため開催したものです。体験会後も児童向けの読み放題、子どもの喜ぶうごく絵本等をおはなし会で宣伝を行い親子で興味を持ってもらうことができました。 <牧野> ・絵本専門士によるおはなし会を今年度初めて実施しています。5月に赤ちゃん向けを実施し、10月にシニア向けを実施しました。様々な業種で専門性を持つ絵本専門士によるおはなし会を図書館で実施することにより、人と本をつなぎ、人と人との交流の機会を提供しています。 ・3月11日人形劇フェスティバル開催時、来場者が多数見込まれることから、より多くの方知ってもらうため会場一角にて「ひらかた電子図書館体験会」を実施しました。観劇の合間に、興味を持たれた方がPadで電子図書館を見られたり、質問されたりしていました。	3	SNSの発信内容を見直したことで、アクセス数を大幅に伸ばしたことを評価します。今後もより一層施設に興味を持っていただく魅力的なPR方法の工夫を期待します。
・読書意欲を喚起する展示や企画の実施	4	【図書館】 <共通> ・月替わりの特集展示や、Twitterで【図書館員今日の1冊】（さだ）・【今日の本棚】（牧野）を随時発信することで利用者と本との新しい出会いを演出しています。9月図書館システムリプレイス期間中はWebOPACも使用できなくなっていたため、Twitterでは電子図書館から書籍を紹介しました。 ・10月27日からオリジナル菜（3種類）を配布しました。合田修二氏のデザインで、市民から「かわいらしい」といった声が聞かれているほか、子どもたちがどれにしようかと迷っている姿も見られました。 <さだ> ・一般、児童、特集の3種類の展示を行っています。「映画化・実写化された小説」といった人気の高い展示や、枚方から京都をテーマにした文学作品を集めて「文学京街道」などを実施することで、地域への興味関心の醸成に努めました。また、昨年までは児童コーナーのミニブックトラック上で行っていた「戦争と平和」展示を、「特集コーナー」にて実施することにより、大人と子どもが一緒に手に取れるような工夫を行いました。 ・今後は「こどものための100冊」や「科学道」など外部のブックリストも積極的に取り入れ、幅広い本との出会いを演出してまいります。 <牧野> ・月替わりの特集展示では色々なテーマを取り上げ、いきいきコーナー展示では健康に特化したテーマを取り上げています。展示資料リストは館内設置、ホームページ、Twitterでも発信しています。 ・映画上映に先立ち、斉藤洋『おぼけ図鑑』シリーズを映画小冊子とともに展示、7月20日より「こどものための100冊展示」、8月には「戦争と平和」展示、「みんなの本棚」（貸出された本を紹介）展示など実施しました。「こどものための100冊展示」はこどもだけでなく、大人も一緒に本を楽しむ様子が見られ、貸出に繋がりました。 ・枚方市のスポーツチームや芸術家の応援をする関連資料の展示、大阪北部地震、防災に関する展示、センター・図書館共同開催の自主事業「もっと知りたい枚方の歴史」展示では郷土資料コーナーのPRも行いました。自分たちの地域をより深く知り、愛着をもってもらえるよう取り組みました。 ・1月4日からは毎年恒例の「としょかん福袋」を大人向けに用意（30袋）、新しいジャンルの本との出会いを提供しました。福袋で出会える新ジャンルにより読書の幅が広がったことに喜ばれています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
・商用データベース活用の検討	3	【図書館】 <さだ> ・今年度新たに「ヨミダス歴史館」を導入しました。利用者からは「いつも大阪府立中之島図書館までヨミダスを使いに行っていたので、便利になりうれしい」とのお言葉をいただきました。 <牧野> ・ジャパンナレッジを継続して提供しています。レファレンスにも活用しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。

環境に配慮した管理運営を目指し、ごみの削減、省エネルギー等具体的に事業計画で提案されている（確認事項38）					
	・環境配慮・継続的改善・自主管理規定の整備、廃棄物低減などの方針を定める	3	【共通】 ・枚方市環境基本条例の実現に寄与できるよう施設の運営を行っています。 ・不要な照明の消灯など省エネ対策に取り組んでいるほか、廃棄物の分別管理を各施設で実施し、ごみの減量に注力しています。 【センター】 ＜共通＞ ・8月「リサイクル博士になろう！」を両センターで日を変えて開催し、地球環境を守るためにリサイクルが大切であることを映像で学びました。その後、風力や磁力を利用して物を分別する実験を、受講者も参加して行い、最後に洗濯機を丸ごと1台、講師が実際にその場で受講者も一緒に考えながら、解体しました。リサイクル可能な部品とそうでない部品に分け、リサイクル可能な部品がいかによりかを学ぶ機会となりました。 ＜さだ＞ ・館内装飾を作成するにあたっては、廃材となる物を再利用することも取り入れ工夫しています。 ・9月「環境講座：ワタシと地球～フードマイレージ買い物ゲーム～」では、大阪府地球温暖化防止推進センターの活動推進員の方から、フードマイレージ買い物ゲームを通じて、最も身近な食と環境の関係を学んでいただきました。参加者から「ゲームを通じて学ぶことができ楽しかった。もっと環境に関する講座をやって欲しい」と意欲的なお声をいただきました。 ・2階ロビーのベンダに、省エネや温暖化防止のためにゴーヤを栽培しました。 8月には立派なグリーンカーテンに育ち、日差しを遮り室温の上昇を緩和してくれました。施設利用者からも好評でした。 ・2階ロビー利用者に、7月から9月の間、うちの貸し出しを実施し、多くの方にご利用いただきました。 ＜牧野＞ ・7月23日～8月23日の間、打ち水大作戦に参加。雨水や二次利用水を活用して行いました。施設利用者の他にも、施設の前を通る学生さん達にも涼を感じて頂ける結果となりました。 ・省エネや温暖化防止のためにゴーヤを栽培。緑のカーテンコンテストにも参加しました。来館する度に育っている様子をご覧になられて、楽しいとの声も頂きました。収穫できたゴーヤは利用者にお裾分けを行い、大変喜んでいただきました。	3	廃材を利用した館内装飾は工夫がみられる取り組みの一つであると評価します。
施設の利用促進に繋がる広報活動等について具体的な実施計画が提案されている（確認事項39）					
	・2 複合施設にアクセス可能な総合ポータルサイトを設置	3	・ホームページを随時更新し、最新情報の発信を心がけています。総合ポータルサイトで、3 施設を利用者が閲覧しやすい仕様になっています。	3	センターのイベント情報など、利用者が見たい、知りたい情報を随時更新して、ホームページを設置しただけにならないよう努めてください。
	・生涯学習市民センターと図書館統一のパンフレットを作成	3	・生涯学習市民センターと図書館一体型のリーフレットを配架しています。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
	・各種メディアへの積極的な情報提供	3	【センター】 ・地域情報誌「関西ぽど」「サンケイリビング新聞社」「まいづれ枚方市」「マイライフ新聞社」「河内新聞」「京阪ジャーナル社アゴラ」「枚方フーレン」「大阪日日新聞」に情報提供を行っています。 ＜さだ＞ ・大阪日日新聞7月11日号にて読売図書館を紹介いただきました。 ・マイライフ新聞社 9月号に「環境講座：ワタシと地球～フードマイレージ買い物ゲーム～」を掲載いただきました。 ・サンケイリビング新聞社のリビング大阪webに、9月、10月のイベント3選として、9月「環境講座：ワタシと地球～フードマイレージ買い物ゲーム～」 10月「さだ秋ジャズ」と「からだリズムケア」が掲載されました。 ＜牧野＞ ・活動委員会事業のイベントも情報提供を行い、Web媒体「号外NET枚方市」には活動委員会事業「ストローおじさんのコンサート」開催情報が掲載されました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。
	・記者クラブとのリレーションを図る	3	・枚方市記者クラブには、センターだよりやイベント等のチラシの配架を依頼しています。人形劇フェスティバル等の規模の大きい事業は、プレスリリースを発行し提供を行いました。	3	本市要求事項水準を満たしていると判断できます。

評価項目ごとの評価基準（1(1)）		
S	事業計画における提案以上に、特に良好な管理運営を行っている	二次評価の平均点が4点以上
A	事業計画に則した適切な管理運営を行っている	二次評価の平均点が3点以上4点未満
B	事業計画の履行において一部努力が必要だが、概ね適切な管理運営を行っている	二次評価の平均点が2点以上3点未満
C	事業計画の履行において、抜本的な管理運営の改善が必要	二次評価の平均点が2点未満

指定管理者による一次評価 平均点	3.0	所管部署による二次評価 平均点	3.1
------------------	-----	-----------------	-----

評価項目 1 業務の履行状況（1）選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項の評価（所管部署）	A
--	---

(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）である
△	一部改善は必要であるが、概ね適正（適切）である
×	不適正（不適切）である

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・収支予算書と比較して収入額が大幅に乖離している場合、その理由は何か、また、今後安定した収入を得られる見込みがあるか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・収支予算書と比較して、想定外に多く支出している費目がある場合、その理由は何か、また、今後、予定外の支出が発生するおそれはないか。	△	光熱費の想定外の高騰	○	光熱費の高騰は指定管理公募段階で予測することは不可能だったと判断します。
・運用資金の借入れを行っている場合、その理由は適当か。	○	適正である	○	借入を行っていません
・口座管理、つり銭等の現金管理は適正に行われているか。	○	適正である	○	使用料については帳票等と整合の上、市の会計規則に則り管理されています。

評価項目1 業務の履行状況（2）施設の管理運営に関する経費の収支状況の評価（所管部署）	A
---	---

評価項目 1 (2)の評価基準		
S	全ての項目が適正（適切）であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A	全ての項目が適正（適切）である	全ての項目が○
B	一部改善は必要であるが、概ね適正（適切）である	△が20%未満
C	改善を要する点が多数ある、又は不適正（不適切）な点があり、直ちに改善を求める	△が20%以上又は×が1個以上

(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）に実施している。
△	一部改善は必要であるが、概ね適正（適切）に実施している。
×	実施していない、又は不適切な点がある

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・募集要項13ページに記載している再委託禁止に関する事項を順守し、市の承認手続きが適切に行われているか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・指定管理業務に伴い発生する経費及び収入を、指定管理者が他の事業等で利用する口座とは別の口座で管理しているか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・個人情報保護法等の関係法令に基づき個人情報保護に関し必要な措置を講じているか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・労働基準法等の労働関係法令を遵守しているか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・職務の執行に対する意見、要望等の記録等に関する条例に基づき記録等の対応を行っているか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・指定管理者が業務に伴って作成し、又は受領した文書等に関し、文書管理に関する規定等を定め、適正に管理・保存しているか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・募集要項13ページに記載している「環境への配慮」が適切に行われているか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・適切な保険に加入しているか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・指定管理者名と設置者としての市の連絡先を施設内に表示するとともに、利用料金表等に明記しているか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・募集要項14ページに記載している障害者差別解消に関する取り組みが行われているか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・正規職員・常勤職員等市が定めた各職の要件を充たしているか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・研修計画を作成しているか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・自主事業を実施するため計画を立て、市の事前承認を得るための手続を行っているか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・生涯学習市民センターに所長・リーダー・サプリーダーによる交代勤務で2人以上の配置としているか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・利用者に対するアンケート等、利用者ニーズの情報収集を適切に行うとともに、その結果を踏まえて改善に取り組んでいるか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・事業報告書、日報・月報等を遅滞なく市に提出するとともに、業務の実施状況が適切に報告されているか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・施設や設備等の修繕に関して、実施記録や要修繕箇所の把握が適切に行われており、適宜、市に報告されているか。	○	適正である	○	適正であることを確認しました。

評価項目 1 (3)の評価基準		
S	全ての項目が適切に実施されており、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A	全ての項目が適切に実施されている	全ての項目が○
B	一部改善は必要であるが、概ね適切に実施されている	△が20%未満
C	改善を要する点が多数ある、又は不適切な点があり、直ちに改善を求める	△が20%以上又は×が1個以上

評価項目1 業務の履行状況（3）募集要項・仕様書記載事項等に関する事項の評価（所管部署）	A
--	---

(4) 改善指示等への対応状況

指示を行った時期	内 容	指定管理者による一次評価	所管部署による二次評価
		対応状況	評価内容
令和 年 月			
令和 年 月			
令和 年 月			

評価項目 1 (4)の評価基準	
S	全ての内容について適切に対応されており、かつ、特に優れた対応が見られる
A	全ての内容について適切に対応されている
B	一部対応が不十分な点又は改善を要する点が見られるが、概ね適切に対応されている
C	対応又は改善を要する点が多い、又は不適切な点があり、直ちに対応又は改善を求める

評価項目1 業務の履行状況 (4) 改善指示等への対応状況の評価（所管部署）	
--	--

2 業務の継続性・安定性

評価ポイントごとの評価基準	
○	適正（適切）である
△	一部改善は必要であるが、概ね適正（適切）である
×	不適正（不適切）である

評価ポイント	指定管理者による一次評価		所管部署による二次評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由
・応募の資格に抵触する事項はないか。 （監査報告書等）	○	応募資格に抵触する事項はない	○	適正であることを確認しました。
・会計手続きが適正に行われていることが確認できたか。 （監査報告書等）	○	適正である	○	適正であることを確認しました。
・事業の存続に関わる異常事項が指摘されていないか。 （貸借対照表）	○	指摘されていない	○	適正であることを確認しました。
・資産・負債の中に大きな前期比増減がある場合、その理由は適当か。 （損益計算書等）	○	適当である	○	適正であることを確認しました。
・安定した収益をあげられているか。（赤字となっていないか。）	○	赤字となっていない	○	適正であることを確認しました。
・施設の収支状況（自主事業の収支を含む）が安定しているか。（赤字の場合は、その赤字分を継続的・安定的にカバーできる財務状況となっているか。）	○	今年度は赤字になったが、会社全体としてカバーできる財務状況である	○	適正であることを確認しました。
・その他、団体の経営に影響する要素はないか。	○	団体の経営に影響する要素はない	○	適正であることを確認しました。

評価項目 2 の評価基準		
S	継続的・安定的にサービスを提供できる状態であり、かつ、特に優れた点が見られる	全ての項目が○、かつ、特に優れた点が見られる
A	継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	全ての項目が○
B	一部改善は必要であるが、概ね継続的・安定的にサービスを提供できる状態である	△が20%未満
C	改善を要する点が多い、又は不適正（不適切）な点があり、直ちに改善を求める	△が20%以上又は×が1個以上

評価項目 2 業務の継続性・安定性の評価（所管部署）	A
----------------------------	---

3 指定管理者による一次評価（総括）

一次評価コメント

指定管理期間の最終年度となり、3年余続いた新型コロナウイルス感染症対策の利用制限が緩和されつつある一年となりました。そのような中、来館される皆様に安心・安全に施設をご利用いただけるよう、感染対策を実施してまいりました。センターでは3年ぶりに「さだ若葉まつり」「牧野文化祭」を開催しました。規模を小さくし、新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの開催でしたが、たくさんの方にご来館いただき楽しんでもらうことができました。また、イベントの延期・中止が多かった昨年度と違い、人数制限を行いながらも積極的にイベントを開催しました。開催するイベントや講座では幅広い世代の方々に楽しんでもいただける内容や、普段センターとかかわりの少ない方々にも足を運んでもいただけるような内容のものを開催してまいりました。イベントや講座の中には、参加者同士が世代を超え交流をされている姿もありました。

YouTubeの「さだ・まきの文化創造プロジェクト公式チャンネル」では、施設のご案内や館内装飾のようす、自主事業のPR、講座や活動委員会事業などを配信しました。引き続き日常生活で楽しく活用できる内容など様々なジャンルを配信してまいります。

外出の機会が少なかった昨今、館内装飾を通じて季節を感じていただくことにも努めてまいりました。草花は欠かさず、季節に応じた装飾を施すことでセンターに訪れた方に楽しんでもらえるよう努めました。センターと図書館共催の映画上映会や、物語食堂では進行やブックトーク、絵本の読み聞かせなど協力し一体となり、施設イベントを楽しみ、親しみを持ってもらえるよう努めました。

今年度、図書館では9月半ばにシステム入替のため16日間の臨時休館がありました。この休館中に「ひらかた電子図書館」を活用していただこうと電子図書館体験会を実施しました。その後も、おはなし会やセンター・図書館の各講座、ひらかた人形劇フェスティバル開催時に「ひらかた電子図書館」の紹介や宣伝を行いました。生活の多様化している現在、個々の生活シーンにあわせてリアル図書館、電子図書館を利用していただけるよう、機会を捉えて普及に努めてまいります。

施設設備全般においてはさだ・牧野両施設とも空調機器、給水設備、照明設備、自動ドア、舞台設備、消防設備などの経年劣化が進行しています。空調設備不良による漏水や排水管詰まり等、緊急事案が発生し修繕費で対応しました。施設設備の計画的な更新工事が必要ですので、引き続き共同事業体で不具合・劣化箇所の情報を共有し、優先順位を決めて適切に修繕費を執行してまいります。市とも密に情報交換を行い、常に安心・安全な空間を提供できる様努めてまいります。

障害者法定雇用率につきましては、行政主催の面接会やマッチング会に参加する等の採用活動を続けるとともに、障害者が勤務できる環境を整える対策を講じた結果、新規雇用はありましたが離職者もあつたため雇用率達成には至りませんでした。引き続き雇用率達成に向け取り組んでまいります。

来期も連携を図りながら、市民の学びや文化を支える拠点として、そして交流の場の提供を目指してまいります。

4 所管部署による二次評価（総括）

(1) 評価項目ごとの評価結果（再掲）

評価項目		評価結果
1 業務の履行状況		
(1) 選定時の基準（確認事項）・事業計画の内容（目標）に関する事項		A
(2) 施設の管理運営に関する経費の収支状況（使用料の収入実績を含む）		A
(3) 募集要項・仕様書記載事項等に関する事項		A
(4) 改善指示等への対応状況		
2 業務の継続性・安定性		A

(2) 二次評価コメント

【センター】

YouTubeやTwitterなどのSNSを利用した施設や事業の情報発信については、昨年度と比較してアクセス数増加の成果があったことを評価します。今後も魅力的なコンテンツの発信を続けていただき、施設の利用者の増加につながることを期待します。

蹠跣施設の夜間時間帯を利用した事業の実施として、仕事終わりの時間帯に駅前でのチラシ配架をしていただいた点は評価できる取り組みです。事業のターゲットによって広報手段は変わりますので、事業企画段階から事業目的やターゲットを明確にし、興味のある市民に届くようなアプローチ方法を検討・実施してください。また、前期のモニタリングでも評価コメントに記載しましたが、取組の実施だけが「実績」ではありません。必ず検証・効果測定を行い、必要に応じて次の事業に繋がるよう努めてください。

【図書館】

図書館運営では、これまで行ってきた人と人をつ結びつけるイベントや行事が更にブラッシュアップされています。特に、イベントに参加した市民がお互いの学習の成果を発表する場や世代間交流ができる場を設けるなど、人と人が本を通じて交流できる場を創出しているところやSNSの効果的な活用などを評価します。

今後も市民に学びの場を提供すると同時に、学習成果の発表の場や交流の場として図書館が利用されるような取り組みを企画・実践することを期待します。

【共通】

令和4年度で指定管理期間も終了となりますが、途中、新型コロナウイルス感染症の影響を受けることとなりましたが、概ね適正に管理運営業務を行っているとは評価できます。また、令和5年度から令和9年度の指定管理者として指定されたことから、今後も引き続き適正な施設の管理運営業務を行うとともに、感染対策や利用促進に努めてください。

また、障害者法定雇用率については、構成各社すべてが早期に雇用率を達成できるよう取り組んでください。

5 添付資料

- ◆利用者アンケート結果
- ◆利用状況・収支状況